



データベースの使い方

データベースとは特定の分野の情報を収集・整理して、パソコンなどで検索できるようにしたものです。

白百合女子大学図書館では、さまざまなデータベースを契約しており、用途・目的に合わせて使うことができます。

データベースを
使いこなせると、
簡単に効率よく
資料を集められます！



よく使われるデータベース

学部・学科を問わずよく使われるデータベースをご紹介します。

※下記以外にも、利用できるデータベースが多数あります。詳しくは別紙「データベースのご紹介」をご覧ください。

①JapanKnowledge

JapanKnowledge Lib

辞書を引く

70種類以上の辞典類を検索できる辞書・事典データベースです。

『ランダムハウス英和大辞典』『ロベール仏和大辞典』といった語学系の辞書や、百科事典などを利用できます。

また、電子ブックも収録されており、『新編 日本古典文学全集』（小学館）や『明治文学全集』（筑摩書房）を読むことができます。

②雑誌・論文検索データベース

CiNii Research

論文を探す

論文など研究活動に関わる多くの情報を検索できる学術情報検索データベースです。電子資料経由で利用することで、本学の蔵書も簡単に検索できます。詳しい利用方法は資料探しガイド

「CiNii Researchで論文を探す方法」も参考にしてください。

③新聞データベース

朝日新聞クロスサーチ

朝日新聞を読む

1879年の創刊号から現在までの朝日新聞の記事・広告を検索・閲覧することができます。朝日新聞デジタルや、雑誌「AERA」

「週刊朝日」の記事も収録されています。



読売新聞を読む

1874年の創刊号から現在までの読売新聞の記事・広告を検索・閲覧することができます。英字新聞「The Japan News」の記事も

収録されています。

日経テレコン

日本経済新聞を読む／企業情報を調べる

過去30年分の日経各紙の新聞記事や、国内外の企業情報を検索・閲覧できます。就職活動の企業分析にも役立ちます。

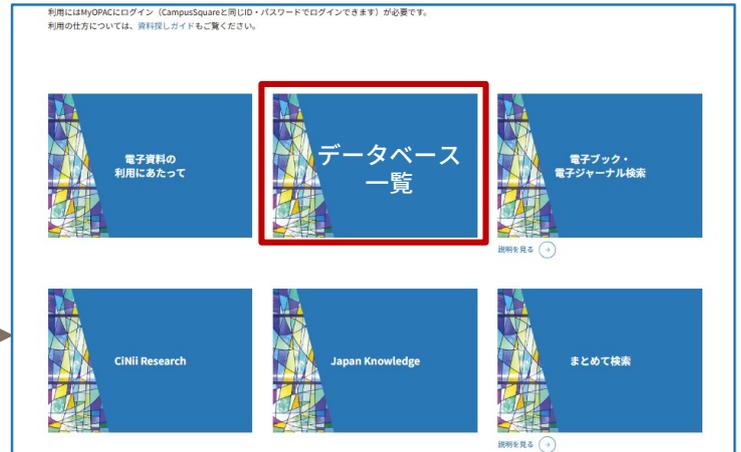
the japan times

英字新聞を読む

The Japan Timesの1997年から現在までの記事を検索・閲覧できます。

データベースの接続方法

①図書館ホームページから「電子資料」を選び、「データベース一覧」を選択する



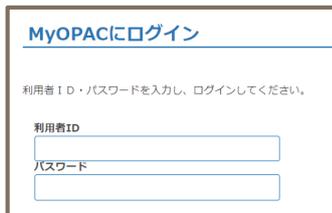
②データベース一覧から使いたいデータベースをクリック



「データベース一覧」には本学で契約しているデータベースが全て掲載されています。この他に、目的別・分野別・タイトル順のリストもあります。また、特によく使われるデータベースである「Japan Knowledge」は「電子資料」トップにボタンが設置されているほか、「よく使うデータベース」リストにも、学科を問わず使われるデータベースへのリンクが掲載されています。



③MyOPACにログインする



MyOPACへは、Campus Squareと同じID・パスワードでログインすることができます。
ログインすると、②で選択したデータベースに接続されます。

MyOPACからもデータベースに接続できます

MyOPACにログインすると、トップページに「電子資料」という項目が表示されます。ここからデータベースのリストを表示させ、使いたいデータベースをクリックしても接続することができます。また、MyOPACからは、よく使うデータベースをお気に入り登録することもできます。

